

【施設状況】

グループ名称	飯綱高原観光施設(飯綱高原運動広場6、小天狗の森フィールドアスレチック、飯綱高原キャンプ場、大座法師池ボート場、飯綱高原観光駐車場2)							
指定管理者名	一般社団法人長野市開発公社				法人番号	9100005000010		
所管課	主	143000	観光振興課	副				
構成施設	5455	飯綱高原キャンプ場						
	2111	飯綱高原運動広場6						
	5455	小天狗の森フィールドアスレチック						
	2144	大座法師池ボート場						
		飯綱高原観光駐車場5						
施設分類	04	レクリエーション型		施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	03 一部利用料金制
施設概要	飯綱高原小天狗の森(昭和53年開設)・飯綱高原キャンプ場(昭和31年開設)・飯綱高原ボート場(昭和41年開設)、飯綱高原運動広場<南グラウンド(昭和60年開設)、東第一・第二グラウンド(平成4年開設)、東第三グラウンド(平成6年開設)、第一テニスコート(昭和57年開設)、第二テニスコート(平成4年開設)>							
施設設置目的	市民、観光客の文化活動及びレクリエーション活動等の増進に資するため、飯綱高原観光施設(フィールドアスレチック、キャンプ場、ボート場、運動広場、駐車場)を設置する。							
基本方針等	指定管理者は、飯綱高原観光施設を有効に活用することで、「日帰り型高原リゾートサービスの提供」「通年観光ゾーンの形成」を図る。また、地域の宿泊施設などと連携し、「長期滞在型高原リゾートサービスの提供」を行い、きめ細やかなサービスを提供することで飯綱高原ファンを増やし、飯綱高原にお越しいただいたお客様の満足度を高めるよう努めるものとする。							
主な実施事業	飯綱高原小天狗の森(遊具33ポイント)、飯綱高原キャンプ場(ログキャビン等)飯綱高原ボート場(普通ボート等)、飯綱高原運動広場(グラウンド、テニスコート等)							

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	一般社団法人長野市開発公社			指定回数	4 回	
指定期間	平成29年4月1日	～	令和4年3月31日	5年	管理運営開始日	平成18年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)	(一社)長野市開発公社は昭和41年社団法人(H25一般社団法人に移行)として地域の開発と資源活用による、地域福祉の向上を目的に設立された。現在も市内28施設の指定管理者として管理運営をしている。				

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	対前年比	評価
	キャンプ場利用者数	人	7,191	8,559	9,762	5,764	59%	
	ボート場利用者数	人	7,040	5,484	6,560	3,306	50%	
	運動広場	人	2,391	2,250	4,107	1,603	39%	
	小天狗の森利用者数	人	26,560	27,760	28,620	24,280	85%	
	営業収入(指定管理料除く)	円	6,479,610	6,106,020	7,868,590	4,850,310	62%	
							#DIV/0!	
(特記事項) 【令和2年度】新型コロナウイルスの関係で、営業期間が短縮されたこと等の理由により、利用者数が大幅に減少した。								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	・キャンプ場、ボート場の管理運営 ・運動広場の管理運営						
	自主事業	・貸テント等のレンタル ・バーベキュー用食材の販売						
サービス維持・向上の取組み(広報等)	・新型コロナウイルスの感染拡大防止策の徹底。 ・公共施設ガイドブックへの掲載による広報。 ・アウトドアフェスティバル参加によるPR活動。							

3

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容		評価
	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	聞き取り	
利用者からの評価・苦情等	(2) 調査、会議等の内容	チェックアウト時に利用者に関き取りを実施。		
	(3) 調査、会議等の結果	繁忙期における駐車場不足の解消要望があった。		
	(1) 良好とする評価	・新型コロナウイルスの感染拡大防止策について、特にソーシャルディスタンスを考慮した取り組みが高評価だった。 ・キャンプ場の手入れが行き届いており、特にトイレが綺麗で良い。 ・利用料金が手頃で利用しやすい。		
利用者からの評価・苦情等	(2) 苦情・改善等の要望事項	・繁忙期の駐車場が少ないので、増やして欲しい。		
	「対応措置」	・施設周辺の空き地も地権者と交渉し、駐車場の確保に務めた。		

3

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和2年度)				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		令和2年度決算		令和元年度決算(前年度)		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金	7,242,000	利用料金	4,850,310	歳入	使用料		使用料	
	指定管理料	37,548,000	指定管理料	37,548,000		雑(納付金)	0	雑(納付金)	794,000
支出	委託料		委託料		歳出	行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料	
	販売収入等		販売収入等			貸付料		貸付料	
	その他収入	7,000	その他収入	244,046		その他		その他	
	計	44,797,000	計	42,642,356		計	0	計	794,000
収入	人件費	21,312,000	人件費	24,820,365	歳入	指定管理料	37,548,000	指定管理料	38,525,000
	設備管理費	767,000	設備管理費	866,565		委託料		委託料	
支出	備品購入費	1,021,000	備品購入費	231,254	歳出	需用費		需用費	
	修繕費	1,771,000	修繕費	303,864		役務費		役務費	
	光熱水費	2,397,000	光熱水費	1,466,956		使用料・賃借料		使用料・賃借料	
	事業費	10,192,000	事業費	9,427,607		修繕費		修繕費	
	事務経費	1,800,000	事務経費	621,871		工事請負費		工事請負費	
	本社経費	3,000,000	本社経費	3,067,418		備品購入費		備品購入費	
	その他	2,537,000	その他	2,831,297		その他		その他	
	計	44,797,000	計	43,637,197		計	37,548,000	計	38,525,000
自主事業	収入	5,333,000	収入	5,097,335					
	支出	10,804,000	支出	9,647,849					
	自主事業損益	-5,471,000	自主事業損益	-4,550,514					
損益		-5,471,000		-5,545,355	差引		-37,548,000		-37,731,000
人件費比率【人件費(賃金等)／令和2年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									56.9%
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由				計画額は「支出見込み額」に、実績額は「収入実績」に一定比率を掛けているため、差異が生じる。					

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか 配置実績(うち市内雇用職員数) 常勤5人(うち市内雇用者5人)、兼務職員1名(市内雇用者)4月~9月市内企業から出向社員3名(エムウェーブ) 防火管理者1名、危険物取扱者1名、大型免許資格2名、大型特殊免許資格2名、食品衛生責任者1名、長野日赤救急法受講者5名	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

6 危機管理体制

※ すべて☑で、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

No. 40

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		☑
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	評価
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	4
協定内容・指定管理者提案	
追加された内容、未実施の内容及びその理由	
・運動広場・トイレ清掃管理業務を地元観光協会へ委託。 ・飯綱高原を美しくする会への活動協力。 ・地元宿泊施設の施設紹介。	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	3	12	
事業収支	4	16	
管理運営全般	4	8	
危機管理体制	3	6	
地域連携	4	8	
合計得点			

評価理由	・「事業収支」の項目及び「管理運営全般」の項目については、飯綱高原スキー場が廃止され、通年雇用が難しい状況となったが、エムウェーブ等の冬季営業施設での雇用を実現するなどして、適正な人員配置・人件費の削減に努めたことを評価し「4」とした。 ・「地域連携」の項目は、飯綱高原観光協会をはじめとする地域のイベントへの積極的な参加、協力があると認められることから「4」とした。
------	---

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
	グリーンシーズンにおける、飯綱高原観光施設の誘客強化	建設中の(仮称)山の駅飯綱高原に加え、飯綱高原スキー場の跡地を有効に活用することにより誘客強化を進める。	

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	・飯綱高原観光施設の整備計画に基づき、飯綱高原の誘客強化に向けた取り組みを進めていく。 ・現在「聞き取り」で行っている利用者要望の把握方法について、「無記名のアンケート」などの方法を取り入れることにより、利用者ニーズの適切な把握に努めるよう求めていく。
---------------------	---

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

・令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止策の徹底を図り、利用者が安全に安心して施設利用ができるように務めた。

② 業務の効率化に対する取組み

・期間営業で通年雇用が難しいため、人件費の削減策として、市内企業(エムウェーブ)と連携を図り、4月～9月の間企業からの派遣職員を雇用し人件費の削減に務めた。
また、公社職員も冬期間エムウェーブへ出向させた。

③ その他

・キャンプ場、ボート場、小天狗の森の指定管理終了に伴い、次期指定管理実施企業に円滑な引継ぎを実施した。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

・キャンプ場、ボート場とも、収入が天候に左右されやすい。

(3) 総合評価

評価基準

【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

D

① 評価理由

業務自体の収入は、ほぼ予定通りであったが新型コロナウイルスの感染拡大防止策のため、オープンが時期が遅れたため、収入が目標額よりも下回ったため。

② 次年度以降の取組み

令和3年度は、キャンプ場、ボート場、小天狗の森の指定管理が終了し、運動広場の管理が主な業務となるため、南グランドの芝生管理をこまめに実施し、利用者の増大による収入増及び県外等からのスポーツ合宿の誘致を行い地域の活性化につなげたい。